



千葉明德短期大学 MAGAZINE 『月歩学歩』 2018年8月号

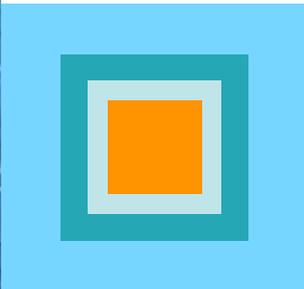
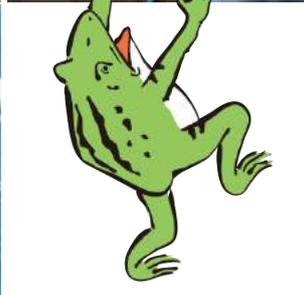
試験よくできました :)

よく来てくれました :)
スペイン語で何って言うの？

学祭あり、再会あり :)

どこもかしこもホットでね

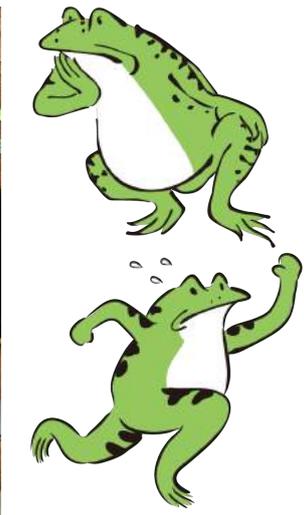
[ABILITY TO EVOLVE] 



8月号の内容

❖ 明德広場（学祭）を振り返って	3
❖ めいトーク	9
❖ 明德はうたう	10
❖ Family Day	12
❖ 学事日程	16

■ 編集
深谷ベルタ、久保瑤子



8月5日（日）に「めいとく広場（学園祭）」が開催されました。今年の学園祭のテーマは、「It's 笑 time～そこのあなたも笑いな祭～」。学生はもちろん、地域の方々や高校生までたくさんの方にお越しいただき、たくさんの笑顔あふれる学園祭になりました。今回は、第48回学園祭実行委員長の伊藤元気さんとゼミで出店した2年生のみなさんに学園祭を振り返っていただきました。

● 学祭実行委員長を務めさせていただきました。2年の伊藤元気です。今回の学園祭では昨年度の反省を生かし、例年よりも準備を早め準備期間を多くも受けたものの、学生一人一人何をしたら良いのか、など進行の内容の把握が難しく、また一・二年生共に実習やテストに追われる日々の中での学園祭となったため、上手くいかないことも多くあり、時には学生同士衝突をしてしまう場面もありました。

自分自身長としてどのようにみんなをまとめ行動したらよいかわからないことも多く、全体をうまくまとめることが出来ず、たくさんの迷惑をかけてきたと思います。ですが、学園祭当日をむかえ、盛り上がる学生の姿、子どもたちの笑顔、賑やかな声、多くの人たちの楽しむ姿を見ることができ、自分たちがしっかりとやってこれたのかどうかは別として、みんなの笑顔が咲き誇る学園祭を行うことが出来たことは、とても幸せなことだと感じました。実行委員長として、学園祭に関わっていただいた全ての皆様に感謝します。

学園祭実行委員長 伊藤 元気



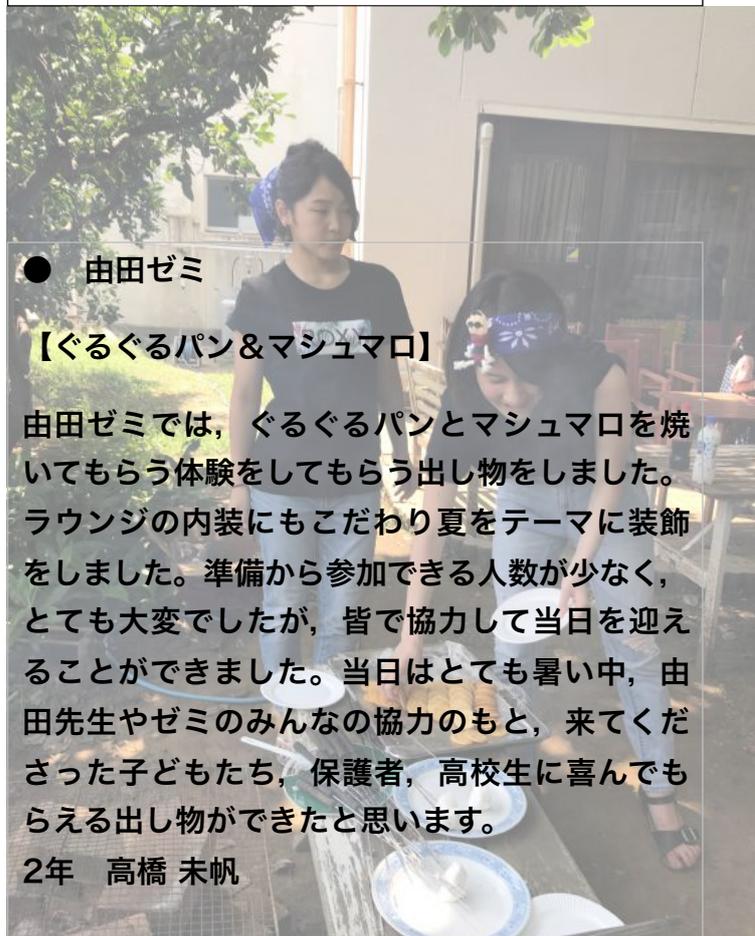
学園祭を振り返って

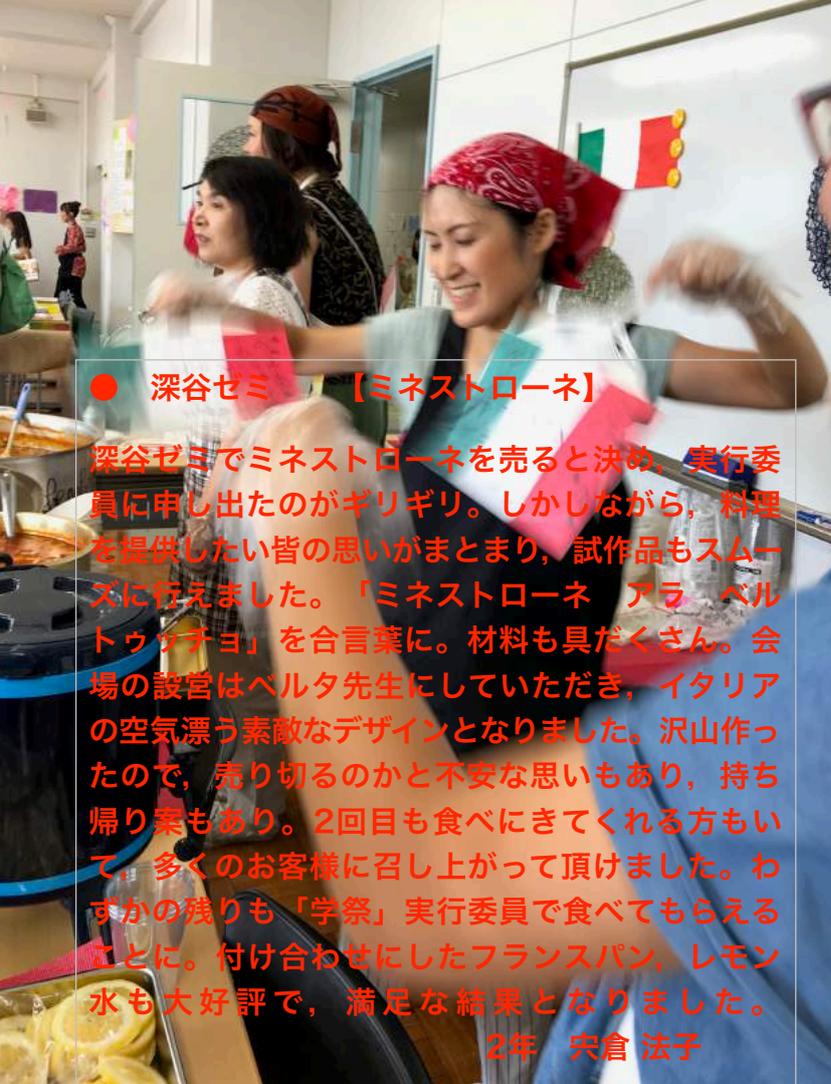
● 由田ゼミ

【ぐるぐるパン&マシュマロ】

由田ゼミでは、ぐるぐるパンとマシュマロを焼いてもらう体験をしてもらう出し物をしました。ラウンジの内装にもこだわり夏をテーマに装飾をしました。準備から参加できる人数が少なく、とても大変でしたが、皆で協力して当日を迎えることができました。当日はとても暑い中、由田先生やゼミのみんなの協力のもと、来てくださった子どもたち、保護者、高校生に喜んでもらえる出し物ができたと思います。

2年 高橋 未帆





● 深谷ゼミ 【ミネストローネ】

深谷ゼミでミネストローネを売ると決め、実行委員に申し出たのがギリギリ。しかしながら、料理を提供したい皆の思いがまとまり、試作品もスムーズに行えました。「ミネストローネ アラベルトゥッジョ」を合言葉に。材料も具たくさん。会場の設営はベルタ先生にいただき、イタリアの空気漂う素敵なデザインとなりました。沢山作ったので、売り切ると不安な思いもあり、持ち帰り案もあり。2回目も食べにきてくれる方もいて、多くのお客様に召し上がって頂けました。わずかの残りも「学祭」実行委員で食べてもらえるなどに。付け合わせにしたフランスパン、レモン水も大好評で、満足な結果となりました。

2年 宍倉 法子



● 明石ゼミ

【休憩所】

私たちのゼミは、学園祭に参加する皆さんの憩いの場となれるような休憩所を設置しました。少ない人数で協力して前日準備を行い、そのおかげで余裕をもって当日を迎えることができました。その中で装飾を作る時間がとても楽しかったです。当日もお互いを支え合って、楽しく過ごすことができました。学園祭前よりもメンバー同士の良い所を見つけ、仲が深まったように感じます。充実した学園祭でした。

2年 高島 成実

● 佐藤ゼミ

【フライドポテト】

佐藤ゼミは自由人が多く、装飾等前日から始めました。何も考えずに前日から準備を始めたけど、みんなでこうしよう等話し合い、準備も楽しく進められました。当日は小さなハプニングがあったけど、全食売ることが出来て、シフトではない人も手伝いに来てくれて、みんなで楽しくできました。学園祭を通して、みんなで話すことも多く、ゼミの仲が深まり、とても良かったです。

2年 花島 捺樹



● 石井ゼミ

【冷やし野菜&フルーツ】

学祭の企画の時点では、前向きに取り組んでいる様子は見られなかったものの、学祭が迫るにつれ話し合っていくうちに、一人ひとり自分の役割を見つけ、協力し合いながら学園祭の準備を進めることができました。内装をどうするか話し合いを進めていくと、みんな同じイメージをもち、衣装まで用意しようという案が出て、学祭当日はゼミメンバー全員で同じ衣装を着て楽しむことができました。学祭終了後、全員今まで以上に石井ゼミが大好きになり、学祭を通して今後の活動への団結力を高めることができました。

2年 工藤 綾華

● 池谷ゼミ

【うたとおはなしと手作りのひろば】

歌とお話，くるみボタンとうちわ，ビーズでキーホルダーの製作を行いました。メンバーと前日に歌とお話のリハーサルを行ったので，当日もスムーズに進めることができ，お話も子どもが参加できる形にしたので，子どもたちも楽しめていたと思います。最後に「アイアイ」を子どもたちと一緒に楽器で演奏しました。とても楽しんでくれたようで良かったです。

2年 川田 朱里



● 田中ゼミ

【おもしろ体験】

田中ゼミでは，感覚遊びをテーマとして，スライム作りを取り入れました。他には，ビー玉ボックスやわたを入れた箱を用意しました。感覚遊びの他にも輪投げや玉入れも取り入れました。スライム作りでは，作ったことや触ったことのない感覚がしたので，とても興味を持ってくれました。私たちが考えていた遊びとは違った遊びをする子どもたちもいて，とても楽しかったです。

2年 越川 楓夏



● 伊藤ゼミ

【タピオカジュース】

今回ゼミ長をやらせていただき、私自身初めてでわからないことが沢山あり、最初はとても不安でした。しかし、他の団体と掛け持ちしたりそれぞれ忙しい中、ゼミの皆がサポートをしてくれたお陰で、無事に学園祭を終えることができました。大変だったけれどとても楽しかったです。

2年 篠塚 真由子



● 大村ゼミ

【映画『さとにきたらええやん』自主上映】

たくさんのお客様が観に来てくださり、みなさん「感動した～」とおっしゃっていました。上映回数が少ないことや場所が少し離れていることから、お客様に来ていただけるか不安でしたが、たくさんのお客様が集まってくださったのでうれしかったです。観た方の心に残るものになっていたらいいと思います。

2年 小松 裕子



● 鶴田ゼミ

【アラビックコーヒー・ミントティー】

酷暑が続く暑い夏に熱い飲み物はどうなのだろうと最初は思っていたのですが、暑い時だからこそ熱いものを飲んで、冷房で冷えた体を芯から温めようという鶴田先生の熱い思いを信じてやってきました。一杯一杯豆を挽いて入れた珈琲や茶葉の香りが程良く香るミントティーに体の芯から温まるだけでなく、気持ちも落ち着けるようなリラックス効果があると感じました。みんなで協力し合いながら、一つの目的に向かってやり遂げ、達成感を得られることが出来てよかったです。

2年 木下 希望



● 久保ゼミ

【ビンゴ大会】

準備では、分担して買い出しをしたり、装飾を作ったり、みんなで協力して行うことができ、よかったと思います。当日は、200人以上のたくさんの方が参加して下さり、子どもたちはガラガラを回したりして楽しんでいる様子が見られました。子どもから大人まで、幅広い年齢の方が楽しんでくださり、とても嬉しかったです。

2年 中川 智子

今年の公開講座「めいトーク」では、新しい保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂（改定）と保育実践をテーマとし、保育者がともに学ぶ「新しい指針・要領と保育実践をつなぐ」を企画しました。

第一部の講演を依頼した増田まゆみ先生（元東京家政大学教授）は、保育者として勤務後、保育者養成校へ移り、保育所保育指針の改訂（改訂）に3回携わる一方で、全国各地の保育のフィールドにビデオカメラを片手に通い映像を用いた保育の紹介、実践の啓発を行ない、多くの映像資料が出版されています。そのため、参加者の方々とやりとりを大切にしながら、映像を使った保育実践の紹介と解説、そして、卒業生にとってリカレント教育（生涯教育構想）、キャリアパスとしての意味合いを持たせたいという願いもありました。参加者が講演を聞くだけでなく、自分を支えている人などをふりかえるワークショップをおこない、「自分のよさを認識できない人が、同僚や保護者のよさを認識できるでしょうか」という増田先生からの問いから、まずは自分（自分が働いている園）のよさを認め、その上で課題意識をもつこと。また、ある園で子どもたちが高い木によじ登って、その木を揺らすことで、木の枝や葉っぱについていた前日の雨が「雫」となって地面に落とされる様子を写した映像を見た後に「実習指導者として、実習生に子どもたちが遊んでいる姿についてどのように説明しますか」「私の園の保育をどう伝えますか」という、保育者の子どもや遊びについての価値観、実習生への指導の視点があらわれるグループワークなどを行ないました。

「映像の視聴、思考、可視化⇒他者への報告⇒よさを共有する」という過程において、子どもの経験・学びを読み解き、新指針・要領で示された幼児期の終わりまでに育ったほしい姿と関連づけながら考えを共有することが、質の向上につながるという話を伺いました。

めいトーク 池谷 潤子

第二部での対談者中山昌樹先生は栃木県佐野市にある「あかみ幼稚園」の理事長で、認定こども園あかみ幼稚園（3～5歳児）、メイプルキッズ（0～2歳児）の2つの施設を運営されています。広大な敷地には、ヤギやウサギなどの動物やビオトープ、プラネタリウム、近隣の方も使用される焼き窯、学童クラブ、保護者によって運営されているカフェなどがあり、まさに認定こども園の「地域の子育て拠点としての役割」を果たしています。千葉県内でも多くの幼稚園がこども園に移行し、そのなかで様々な課題が見えてきていますが、あかみ幼稚園がこども園に移行したことで、どれだけ多くのメリットが子どもたち、職員、そして保護者にあるのかということ。1つの素材（粘土）が未満児の「小麦粉粘土」から以上児の「保護者や近隣の方々の協力を得ながら3日3晩掛けて焼く卒業作品」に発展していくという取り組み。日々の保育のなかで保育者が30分間の記録を書く時間を保証するための工夫や取り組みなど、具体的な事例についてお話されました。

参加者の方々からは、「保育について可視化したり、他園の保育者の考え方を聞く機会があまりないので、保育のひと場面を切り取って考えていくこと、話し合っていくことの重要性を感じました」「保育実践の映像を使った対談から、普段の保育での反省や疑問が少し解けたところがあってよかった」など、翌日の保育への元気を頂いたとの感想が寄せられました。

私が公開講座「めいトーク」を担当するようになってから3回目となりました。平成28年は岩田遵子先生（東京都市大学）、平成29年は汐見稔幸先生（元白梅学園大学学長）と本学の深谷ベルタ教授、そして今年度は増田まゆみ先生と中山昌樹先生という、それぞれの先生方のお人柄に触れ、打ち合わせを行い、先生方の保育・幼児教育への真摯に向き合う姿を間近で感じることができる貴重な機会となっています。また、

本学の卒業生たちもこの機会に顔を見せてくれることが多いことも講座の特徴だと思いますので、講師の先生と短大の教員が対談するような企画にできればと考えています。月歩学歩の読者の方々の希望も取り入れながら来年度も進めていければと考えておりますので、ご要望等ございましたら、ぜひお寄せください。



明德は うたう 明石 現

2年生の選択必修科目「音楽表現演習Ⅲ」発の企画として、7月19日（木）に短大の講堂に於いて「明德はうたう」を開催しました。5年前から、教職員と学生が互いの演奏を通じて音楽を共有するコンサートとして、年に2回の「明德はうたう」を前期と後期に分けて行っています。

今回はフィールドワーク「スペイン」の相互交流として来日中のアタウルフォ・アルヘンタ音楽院（スペイン北部カンタブリア州都・サンタデール）の学生8名と教員2名、計10名の皆さんをお迎えした特別版のコンサートとなりました。スペインの皆さんは、自国スペインの香りたっぷりの楽曲を、ピアノ、ヴァイオリン、オーボエ、フレンチホルン、歌により素晴らしい演奏で聴かせてくださり、また、明德の2年生は、幼稚園実習が終わったばかりの限られた時間の

中で、音楽の先生方の熱心なご指導の下、ハンドベル、影絵を交えたピアノ伴奏による合唱、ギター合奏、手話合唱など、多彩な曲目を聴かせてくれました。そして、プログラムの最後には、スペインの学生による詩の朗読（日本語とスペイン語）が静謐なピアノ伴奏に乗せて披露され、会場は静かな感動に包まれました。

保育者養成校における音楽教育には、多様な角度からのアプローチが必須です。いわゆる「子どもの歌」の練習に重きを置くに止まらず、優れた音楽芸術に触れ、感性を揺さぶられる経験を積むことが肝要であり、そのことが結果として学生の皆さんの「領域を横断する力」につながると思うのです。今回の「明德はうたう」がその一助となってくれることを願うばかりです。



アタウルフォ・アルヘンタ音楽院 (スペイン・サンタンデル) & 千葉明德短期大学
 Conservatorio Profesional Municipal "Ataúlfo Argenta" & Chiba Meitoku College
 交流コンサート「**明德はうたう**」2018夏

PROGRAM

- 私のお気に入り〜「サウンド オブ ミュージック」(R.ロジャース)
- ヘドウィグのテーマ〜「ハリーポッターと賢者の石」(J.ウィリアム)
演奏: 音楽表現演習・木村クラス&曾我クラス
- "SCHERZINO" スケルツィーノ (LAMOTTE DE GRIGNON)
演奏: Cristina Valle de Vicente y Alba Sáenz Rábago
- 小さな世界(ザ シャーマン ブラザーズ)
演奏: 音楽表現演習・明石、大澤クラス
- "SUSPIROS DE ESPAÑA" スペインのため息 (ANTONIO ÁLVAREZ ALONSO)
演奏: Marta Oterino Sánchez y Elena Serna Conejo
- "DANZA ORIENTAL" オリエンタル (E. GRANADOS)
演奏: Juan Carlos Sanmartin Rubio y Celia Martinez Cantón
- ことばと生命(いのち)〜手話合唱と11弦ギターのために(明石現)
演奏: 専門総合演習・明石ゼミ&FWスペイン
- "TANGO" タンゴ (I. ALBÉNIZ)
演奏: Lara Sáiz Fernández
- "ESPAÑA (IMPROVISATIONS FOR HORN SOLO)" スペイン
(ホルン独奏のためのインプロヴィゼーション)
(VITALY BUJANOVSKY)
演奏: Juan Carlos Sanmartin Rubio
- 地球星歌〜笑顔のために〜(ミマス)
- てをつなごう(榎原敬之)
演奏: 音楽表現演習・井出クラス、福中クラス&松井クラス
- "FUYUMI" (BELLEZA DEL INVIERNO) "フユミ"(冬の美しさ) (ALMUDENA CAMPUZANO)
演奏: Carmen Pascual Urresti
- "CHILDREN OF LIGHT" 光の子どもたち (KAREN TANAKA)
演奏: Lara Sáiz Fernández





Family Day

今年も、フィールドワーク「スペイン」の相互交流として、7月12日（木）～20日（金）まで、アウルフォ・アルヘンタ音楽院から8名の学生と2名の教員、計10名の皆さんをお迎えしました。14日（土）と15日（日）は、「Family Day」としてホストファミリーと一緒に過ごしました。今年、ホームステイを受け入れてくれた2年生の秋葉麗奈さん、尾林千春さん、白石美雪さん、室井奈津美さん、森田あゆみさん、山本遥さん、1年生の相楽亜美さん、高桑映美さんにFamily Dayの過ごし方をレポートしてもらいました。

また、明德土気保育園の北村園長先生、高森先生のお知り合いの水主様にもホームステイを受け入れていただきました。この場をお借りして御礼を申し上げます。ありがとうございました。

● 秋葉家のファミリーデーは、とても楽しい時間になりました★1日目は成田山に行った後、クリスティーナの誕生日を祝いました!!クリスティーナの誕生日会では、家族全員と父の友だちが大勢来て、一緒に祝ってくれました!!その後、クリスティーナはスイカ割りを楽しんでいました。2日目は朝から鴨川シーワールドに行きました!!シャチのショーを真剣に見ていたり、魚の話をしたりとても楽しそうでした。帰りにカステラを買ったのですが、カステラの数え方が「マンボウ」でした。「1マンボウ、2マンボウ、3マンボウ…」

と言う店員さんに面白いと感じたようで、「マンボウマンボウ」とクリスティーナはずっと言っていて、家族皆で笑ってました(*^▽^*)

2年 秋葉麗奈

● ファミリーデーは鴨川シーワールドやスカイツリーに行ってきました。

2年 尾林千春

● 受け入れは初めてで不安もあったのですが、遠く離れたスペインの話聞いて違いを知ったり、一緒に出かけたりできて、家族皆にとって貴重な体験となりました。スペインにいつか行って再会する夢もでき、受け入れしてよかったと思っています。写真は、ファミリーデーで、吉羽さん（2年生）ご実家の豊屋さんで体験させてもらったり、スカイツリーに行った時のものです。

2年 白石美雪

● 栃木の実家に一泊し、次の日は日光に日帰り旅行に行きました。日光東照宮に行ったり、かき氷を食べたりしてThe田舎な一日を過ごしました。かき氷を初めて食べたようで、美味しいと言って喜んでくれました^^

2年 室井奈津美

● ファミリーデーでは観光に行ったり、地元のお祭りに行ったり、自宅で花火をしたりと沢山の思い出があります。特にスペインからのお土産の食材を使って料理をし、家族皆で日本語やスペイン語で「美味しい」と言い楽しく食べたことが印象に残っています。

私だけでなく、家族皆の一生の思い出として残る素敵な経験をすることが出来、何事もチャレンジをしてみることの大切さを改めて感じました。

2年 森田あゆみ

● 2人が我が家に来てくれた事によってわたし自身の海外への興味と考え方の幅広さなど、本当に人生での貴重な体験をさせて頂いたと感じております。息子達も、今でもお姉ちゃん達は？と言

うくらい心に残った数日間だったのだと思いました。

出発の際空港でクリスティーナとエレナの表情を見た時に、ホストファミリーをして2人の人生に関わられて良かったと心から思いました。

1年 相楽亜美

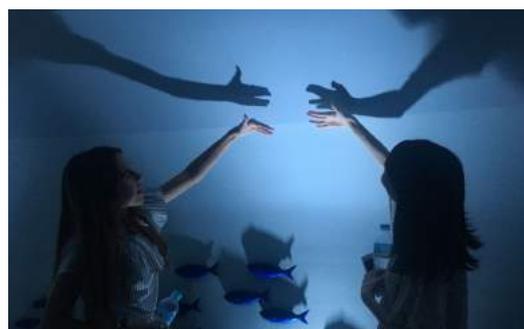
● 最後の夜、彼女達がスペインオムレツを作ってくれて子供も大喜び！とても楽しい日々でした

1年 高桑映美

● 野球観戦に行きました。初めてみる光景に驚いていました。

2年 山本遥







編集後記

今年の「学祭」は異例のものでした。

8月の気温が言うまでもなくですが地球の北半球どこもそうでした。

学祭の準備が例年より早く着手でき、準備が5月から始められたこと。昼休みとSNSを利用したミーティング。終電ではなくもう少し早く帰宅できたこと。1年生全員の協力でデコレーションがほぼ済んでしまったこと。暑さにめげず多くのお客さんがお出でになったこと（特に高校生の来校者は予想を遥かに超えました）。食事や飲み物も豊にあったこと。子どもたちが楽しめる遊びのコーナーも多くあったこと。暑さ対策が初めて必要になったこと、等々。期末試験を受けながら、スペインからのお客さんをガイドしたりする中で進められた「学祭の準備」。学生自身も大変忙しかっただろうと思います。ホームステイに協力して下さった家族に改めてお礼を申し上げます。1年生のご家族が協力して下さったことも初めてのことであったのではないのでしょうか。

『月歩学歩』発行委員会の学生達の力があってこそ今月号の原稿調達も実に早くスムーズにできました。原稿や写真をよせてくれた全ての学生に感謝します。学事日程をご覧になれば分かりますが、学生自身にも夏休みがあまりなく、お盆休みと9月になってからの数日のみです。体調などを崩さず、短い夏休みをエンジョイして。後期にまた会いましょう。（深谷）





学事日程

8月

20日 (月)

❖ 保育実習II&III (2年生)

❖ メディア・コミュニケーション
(9月7日まで; 1年生)

29日 (水)

❖ A0入試2期

9月

6日 (木)

❖ フィールドワーク (22日まで; 2年生)

16日 (日)

❖ OC・A0入試3期・保育体験入試

18日 (火)

❖ 後期授業開始 (1年生)

21日 (金)

❖ 乳児保育体験 (1年生)

❖ 成績通知 (両学年)

29日 (土)

❖ A0入試4期

10月

1日 (月)

❖ 後期授業開始 (2年生)



▲ 学園祭に来てくれてありがとう (卒業生)

